

## 幽玄の世界を体感

12/11 子ども能楽発表会 能楽講演会

シテ方観世流能楽師の青木道喜さんが講師を務める「あづみ野子ども能楽教室」。7月から12月にわたり稽古を続けてきた小学1年生から中学1年生までの6人と、「安曇野青謳会」の12人が、穂高交流センターみらいで「仕舞」などを披露しました。

能楽発表会の前には、青木さんの講演会も開かれ、夫婦愛を描いた名作「井筒」の魅力を解説しました。

青木道喜さんの父は、名誉市民で旧明科町出身の能楽師(故)青木祥二郎さん。これまで13年にわたり、安曇野の子どもたちに能楽を指導いただいています。



## 安曇野市区長会設立15周年記念事業

安曇野市区長会



## 地域のつながり 15年の節目祝う

12/11 安曇野市区長会設立15周年記念事業

市区長会は設立15周年の記念式典と講演会を12月11日に市役所で開き、区長や関係者ら約80人が出席しました。式典では、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の区のあり方として「部制度導入の推進」と「より望ましい事務局体制の検討」の2点が提言されました。

佐々木一夫区長会長(矢原区長)は「生活様式の変化や少子高齢化などで地域課題が多様化している。課題解決のために83区が互いに協力することが大切」とさらなる協力体制の強化を呼びかけました。

## 海外での心臓移植のために

12/17 ゆうちゃんを救う会 募金箱設置

心臓移植のための募金を呼びかけている、ゆうちゃんのお母さんと救う会の皆さんが12月17日に市役所を訪れ、太田市長と面会しました。

佐久市在住で県立こども病院に入院中の中澤維斗くん(小学4年生)は50万人に1人という難病「拘束型心筋症」と診断されました。維斗くんが元気になるためには、アメリカでの心臓移植手術が必要です。海外での渡航移植手術には膨大な費用が必要なため、両親の友人が中心となり「ゆうちゃんを救う会」を結成し、募金活動を行っています。

募金箱は、市役所1階東側の総合案内に2月28日ごろまで設置しています。



## 地域の繁栄を祈り 福を配り歩く

1/9-10 成相区・新田区 市無形民俗文化財「福俵引き」

新春の伝統行事あめ市が豊科成相区と新田区で開かれました。本祭りの10日には、公民館近くに建てた御柱が倒され、結んであった柳花や巾着を外して持ち帰る子どもや大人の姿が見られました。成相区では、青年会の若集約30人が威勢のいい掛け声と共に区内を練り歩く「福俵引き」が行われ、福俵をめぐる綱の引き合いの後、昨年開業した飲食店に無事納められました。青年頭の丸山宏章さんは「地域の伝統を絶やすことなく、続けていきたい」と語り、福俵を奉納された吉田信秀さんは「大変な時ですが、みんなで分かち合い頑張りましょう」と力強く話してくれました。



## 防災力の向上目指し新たな一年

1/9 安曇野市消防出初式

市消防出初式が豊科公民館ホールを主会場に開かれました。式典には約350人の団員が参加。功労のある団員への表彰などが行われました。

二木弘団長は、昨年8月の豪雨による災害などに触れ、「市民の防災に対する意識が向上している。地域と連携し、さらなる防災力の向上を目指したい」と話し、地域防災への決意を新たにしました。式典後には分列行進が行われ、音楽喇叭隊の行進曲に合わせ、豊科消防署、安曇野警察署前などを行進しました。



表敬  
訪問

## 全国で活躍 安曇野の子どもたち

全国大会に出場し優秀な成績を収めた皆さんが大会での成果報告に市役所を訪問しました。(敬称略)



全国子どもチャレンジカップ第14回全国大会  
リアル大会▷チャレンジサーキット・ジュニア(エアロビクス)4位 小林笑瑠(穂高南小) 動画大会▷チャレンジサーキット・ユース(エアロビクス)1位、チャレンジパフォーマンス・アクティビティ4位 中村千織(明科高)▷チャレンジサーキット・リトル(ヒップホップ)5位 丸山乃映(豊科南小)▷チャレンジパフォーマンス・アクティビティ4位 玉川乃彩(信濃むつみ高)、青柳 栗和(穂高商業高)、玉川彩衣(エクセラン高)、山本 優杏(松本深志高)▷チャレンジパフォーマンス・エアロビクス6位 茅野心結(穂高南小)、宮澤つき乃(穂高南小)、野沢美結(穂高西小)、高柳愛(穂高西小)、西杏加梨(穂高南小)▷チャレンジパフォーマンス・リトルエアロビクス2位 矢口小桜(穂高西小)、上嶋朱葵(穂高南小)、帯刀葉月(三郷小)、瀧澤日葉里(穂高南小)  
JOCジュニアオリンピックカップ第14回全日本ジュニアテコンドー選手権大会キョルギ高校生男子+68kg級優勝 山崎翔大(成学学園高)